

新春

# わかさ能

大和探訪  
〜女流能楽師競演〜

解説 山下あさの

〈独吟〉喜多流

飛鳥川

大島衣恵

〈仕舞〉観世流

野守

山下あさの

〈能〉宝生流

三山

石黒実都

令和三年

一月十一日

(月・祝)

午後二時三十分開演

(開場一時間前)

奈良春日野国際フォーラム

薨〜I・RA・KA〜 (旧奈良県新公会堂)

【能楽ホール】

奈良市春日野町101  
電話：0742(27)2630

近鉄・JR「奈良駅」から奈良交通バス

(市内循環)「東大寺大仏殿春日大社前」下車

入場料 【ブロック指定内自由席】

Aエリア：5,500円 (正面と脇正面)

Bエリア：4,500円 (中正面)

※座席図裏面参照

チケット販売

令和2年11月5日(木)販売開始 9時〜17時

※電話及びオンラインチケット予約は、11月5日(木)の9時より受付をいたします。

チケット販売所

◎奈良能事務所  
TEL: 0742 (24) 5171

【Mail】 npohoujin.naranoh@gmail.com

◎奈良春日野国際フォーラム 薨〜I・RA・KA〜(旧 奈良県新公会堂)  
TEL: 0742 (27) 2630 [奈良市春日野町(月曜休館)]

◎オンラインチケット

【URL】 www.i-ra-ka.jp/ から24時間チケットを予約・購入可

◎奈良県文化会館(文化情報センター) ※窓口販売のみ  
TEL: 0742 (22) 0200 [奈良市登大路町(月曜休館)]

※当日はマスク着用し、検温・消毒にご協力下さい。  
※今回は例年の能楽講座を設けておりませんが、  
番組の最初に演目の解説を設けております。

# 新春 わかさ能

大和探訪 女流能楽師競演

令和三年 一月十一日 (月・成人の日)

奈良春日野国際フォーラム

薨し・R・A・K・A

(旧奈良県新公会堂)

開演 午後二時三十分～四時三十分頃 (開場 午後一時三十分)

本日の演目解説

山下あさの

独吟 (喜多流)

飛鳥川 大島 衣恵

仕舞 (観世流)

野守 山下あさの

能 (宝生流)

石黒 実都 岡本 知子

三山 有松 遼一

山本 善之

荒木 建作

森山 泰幸

山村 友子

山中 雅志  
井戸 良祐  
林本 大

辰巳 和磨  
山内 崇生  
澤田 宏司  
伊東 静夫

※やむを得ない理由により、演者が変更になる事があります。

## ■独吟 喜多流 飛鳥川(あすかがわ)

物語の舞台は奈良の飛鳥川の川辺、生き別れた母を尋ねる子が、田植えをする女(実は生き別れた母)と出会います。「飛鳥川 岸田の早苗」とどりの袖も緑の景色かな「天に鳥、地に緑、人の歌う田植え歌、時を経た末も、都から遠い田舎も、豊かなのは地祇(土地の神)のお陰と女は謡います。女は古歌を連ね、空のホトトギスの様にさまよい、いとし子を探す身の上と語り、心乱れて舞を舞います。やがて二人は名乗り合い、「飛鳥川 深き契りの親と子に」と、再会を喜びます。

『飛鳥川』は能としては金剛流と喜多流のみにある曲で、今回は冒頭の豊かな実りを称える謡を独吟形式でお聞きいただきます。喜多流の骨太の謡が、皆様の新春を寿ぎます

## ■仕舞 観世流 野守(のもり)

春日大社参道わきに、飛火野と呼ばれる見晴らしの良い原っぱがあり、昔、野守の役人が烽火をあげて緊急連絡を行っていました。『野守』の後シテの鬼神はすべての真実の姿を映し出す鏡を持って野の塚から現れます。鏡は人間の生前の善悪を映し出す「浄玻璃の鏡」となり、野守の鬼は大地を踏み破って地獄へ帰って行きます。

仕舞の『野守』は扇を二本持ち、銀扇を広げて鏡とします。仕舞ならではの見立てをお楽しみください。そして観世流鬼物の力強い謡に呼応するシテの足拍子、天空から一気に地獄までを映し出すスケール感、打ち据えられる罪人、ダイナミックな舞型から大地を踏み破る鬼神の姿を想像して、お楽しみ下さい

## ■能 宝生流 三山(みつやま)

大原の僧の良忍は融通念仏を広めて、大和の国に入り一人の里女に、このあたりの名所である大和三山について尋ねると、女の語るに、香久山に住む公成が、畷傍山の桜子と耳成山の桂子、二人の女に二股掛けて通い、女二人は花よ月よと争ったが、男の心が桜子になびき、桂子は池に身を投げて亡くなり、里女は自分を名帳(融通念仏の名簿)に書き入れてほしいと頼み、桂子であると名乗って、池の底に消えます。良忍が弔いの念仏を唱えていると、桜子、続いて桂子の亡霊が現れ、嫉妬に悪かれてうわなり打ちを始めますが、良忍の念仏により、共々に恨みも晴れ、西方浄土に御法を受け、弔いを頼んで終わります。

万葉集の「香具山は畷傍を愛しと耳成と相争ひき神代よりかくなるらし古へも然なれこそ現人も袂を争ふらしき」から材を取り、前シテの男に去られた女の悲哀、後シテの嫉妬に狂う女への豹変ぶり、桜子と桂子の二人を畷傍山・耳成山、桜・桂、花・緑、花・月、春・秋と対比させる謡の面白さ、女二人のうわなり打ちの型などが見どころ、そして、宝生流の美しく、透明感のある謡もお聞きください。

奈良春日野国際フォーラム薨し・R・A・K・A  
(旧奈良県新公会堂 能楽ホール 座席図)

